

## 4. 『鳥飼地域のまちづくりについて』

### 令和4年第2回6月議会一般質問 議事録

#### 【1回目】質問

4つ目の鳥飼地域のまちづくりについて。

本件は、毎回取り上げていますが、鳥飼まちづくりランドデザインが、3月末に答申され、その後、約1ヶ月間、パブリックコメントが実施されました。まずは、進捗状況をお聞かせ下さい。以上、4点です。

#### 【1回目】答弁

「鳥飼まちづくりランドデザインの進捗状況」についてのご質問にお答えいたします。

鳥飼まちづくりランドデザインについては、令和3年度に附属機関として「鳥飼まちづくりランドデザイン策定委員会」を設置させていただき、8回にわたり会議を開催し市長へ答申を行っていただきました。

今年度に入り、パブリックコメントを実施し、8件のご意見をいただいたところでございます。いただいたご意見につきましては、公共交通をはじめ、教育、農業、公園、淀川河川敷の活用等、多岐にわたる内容であったため、より丁寧に対応すべく検討を進めているため時間を要しておりますが、内容ごとに一定整理した上で、市の考え方を公表するとともに、パブリックコメントでいただきましたご意見等を踏まえたランドデザインの修正を行い、策定してまいりたいと考えております。【市長公室長】

#### 【2回目】質問

続きまして、4つ目の鳥飼地域のまちづくりについて、に移ります。

進捗状況をお聞かせ頂きました。

ランドデザインは、行政経営戦略の地域版と位置付けられています。中長期的な方針は、これからが重要であり、市民ニーズや地域が抱える課題が、複雑化・多様化している中、部局を横断し、多岐に渡る検討が必要です。

私は、組織に横串を入れる一方で、各所管課が主体性を持って、本気になって取り組まなければならないと考えますが、これから、どう進めて行くのか？お考えをお聞かせ下さい。

#### 【2回目】答弁

今後、鳥飼まちづくりランドデザインを具現化していくにあたり、地域住民の皆様をはじめ、関係する方々に主体的にまちづくりに参画していただくためには、ランドデザインの趣旨などをご理解いただくことが重要と考えております。

そのため、ランドデザインの周知を目的とした説明会等の開催を予定しており、その後は、ランドデザインの「将来予想」を例に、子や孫の世代に引き継ぐもの、より良好な環境にしていくものなどについて意見交換等を行い、ランドデザインを具体化してまいりたいと考えております。

一方、庁内におきましては、令和4年度より、個別課題に対応して、関係課と鳥飼地区まちづくり担当が連携した組織横断的な専門チームを組織し、ランドデザインの具体化に向けた体制を強化したところであり、庁内一丸となって取組を進めてまいりたいと考えております。【市長公室長】

## 4. 『鳥飼地域のまちづくりについて』

### 【3回目】質問

組織横断的な専門チームを組織されたとのことで、的を射た対応と考えます。

ランドデザインは、基本構想にあたると思いますが、具現化するには、基本計画を立て、財源の裏付けを基に、実施計画、いわゆるアクションプランを作成しなければなりません。特に、短期的な施策は、直ぐにでも、着手する必要がありますが、どの様な手順で具現化して行くのか？見解をお聞かせ下さい。

### 【3回目】答弁

ランドデザインは、人口減少・少子高齢化が進展し、様々な課題が生じている鳥飼地域にとって、大変重要な将来ビジョンであるとともに、その具現化は、本市にとって重要な責務でもあると認識いたしております。

いわゆるアクションプランとは、財源の裏付けを伴った具体的な取組内容や工程が示されたもので、ランドデザインを具現化していくためには、そのようなアクションプランの作成は有用であると認識しております。

しかしながら、ランドデザインの策定後に、地域住民をはじめ、関係者の方々と意見交換等しつつ、ランドデザインにある課題解決の方向性を具体化していくこととしており、その過程で地域住民の皆様等との役割分担や事業スキームの検討、財源の確保に取り組むことといたしております。そのため、いわゆるアクションプランは、これら具体化に向けた取組みのなかで徐々に策定されていくものと考えております。【市長公室長】

### 【4回目】質問

是非、計画に落とし込み、アクションプランの策定をお願い致します。

私は、兼ねてより提言しています様に、「交通利便性の向上」と「教育の魅力化」が鳥飼まちづくりの大きな鍵であると考えています。

まず、交通利便性の向上ですが、今年度は、市として、公共交通の目指すべき姿や交通計画の考え方を整理することになっています。改めて、内容と進捗状況をお聞かせ下さい。

### 【4回目】答弁

「公共交通のあり方検討会の取組状況」についてのご質問にお答えいたします。

公共交通あり方検討会は、本市における公共交通の維持・確保及び市民の移動利便性の向上を図るとともに、道路及び市内公共交通のあり方について総合的な検討を行うことを目的とし、学識経験者をアドバイザーに迎え、建設部職員のほか、関係各課の市職員で組織されております。昨年度末の3月23日に準備会を行い、検討会の目的・目標を確認し、今年6月3日の第1回検討会から正式にスタートしたところでございます。

検討会では、人口減少・高齢化の進展により地域公共交通はこれまで以上に確保・維持が困難な状況が予測されますが、その役割はより重要となってくることから、現状の把握・分析、また、将来の取り巻く交通環境を想定し、摂津市が目指すべき道路・交通のあり方のとりまとめを行ってまいります。

6月に行いました第1回検討会では、本市の将来像を考えるために、将来の道路整備状況や財政支出の見通し、福祉、教育、住宅、産業、物流の今後の見通し等を踏まえ、ワークショップ形式

#### 4. 『鳥飼地域のまちづくりについて』

にて、将来予測やどんな将来にしたいかを参加者全員で議論したところでございます。【建設部長】

##### 【5回目】質問

概ね理解しました。

鳥飼地域の交通問題は、本市のみの施策、エリアごとの個別対策では解決することが難しいことから、多様な協議体を設置し、具現化する計画ですが、検討会の結果をどう反映させて行くのか？お聞かせ下さい。

##### 【5回目】答弁

「公共交通のあり方検討会の結果を今後の公共交通にどのように反映させていくのか」についてお答えいたします。

公共交通のあり方検討会は今年度全 6 回を予定しております。今後の検討会では、将来予測で公共交通を取り巻く環境を想定し、摂津市の公共交通はどうしたいのかなどの検討を行い、今年度末には、将来を見据えた目指すべき交通のあり方やサービスレベルについての方向性を示せればと考えております。

その後は、市民の方々と意見交換を行った後に、市民や関係機関の方々が参画する協議会において、「摂津市の公共交通はどうあるべきなのか、また、どうしていくべきなのか」をさらに議論して頂き、数年をかけて市の地域公共交通計画の具体化を図っていきたいと考えております。【建設部長】

##### 【6回目】質問

鳥飼地域は様々な交通問題を抱えており、短期的な施策は、急ぐ必要がありますので、鋭意、取り組むことを要望致します。

次に、教育の魅力化ですが、今年度は、小中学校通学区域等審議会が開催されますが、単なる校区変更や規模の適正化を図るだけの議論では本質的な対策には至りません。

長期的な視点で検討すべきと考えますが、一方で、鳥飼東、鳥飼小学校の小規模校化への対応は待たないであります。審議会の内容についてお聞かせ下さい。

##### 【6回目】答弁

現在、鳥飼地域では児童・生徒数減少による小規模化が進んでおり、将来的には中学校での単学級化や 1 学級あたりの生徒数の減少など教育活動への影響が出てくるものと考えられ、長期的かつ広範囲な視点でもって、鳥飼地域の学校の在り方について議論を重ねる必要があるものと認識しております。

しかしながら、特に鳥飼小学校、鳥飼東小学校は、すでに単学級化が進んでおり、喫緊の課題であることから、今年度は、鳥飼小学校、鳥飼東小学校の適正規模・適正配置等について諮問し、ご審議いただきたいと考えております。【教育総務部長】

##### 【7回目】質問

喫緊の課題について特化されると理解しましたが、審議会では、様々な意見が出るのが想定されます。どの様な形で進めて行くのか？お聞かせ下さい。

## 4. 『鳥飼地域のまちづくりについて』

### 【7回目】答弁

審議会の構成員といたしましては、学識経験者、自治会、青少年指導員、PTA や就学前児童の保護者、学校長、計19名にご参画いただき、様々な視点からのご意見をいただきたいと思いますと考えております。審議会の開催といたしましては、今年度計4回を予定しています。

また、併せて当該地域の関係者の皆様からのご意見についてもおうかがいしたいと考えており、とりわけ、現在通学されている児童の保護者、そして今後通学を予定している児童の保護者の方々については、子どもたちにとって安心して安全な、そして豊かな学校生活を送っていただくため、幅広くご意見を伺ってまいりたいと考えております。【教育総務部長】

### 【8回目】質問

学校の抱える課題が複雑化・多様化しており、子供の成長を社会全体で支えていくことが求められています。色々な視点で意見を集約し、是非、市長部局と密に連携を図り、取り組むようお願い致します。

色々な観点から述べましたが、ランドデザインを絵に描いた餅にしてはなりません。複雑な事案を体系的に整理し、複数の課題を同時並行的に解決する必要があります。

その為には、市職員一人ひとりが自分のこととして捉え、各所管課が主体的に取り組む必要があります。ランドデザイン具現化に向けた福渡副市長の意気込みをお聞かせ下さい。

### 【8回目】答弁

ランドデザイン策定後の私の意気込みについてございますが、私自身も「絵に描いた餅にさせてはならない」と常々意識しているところであり、そのためにも、しっかりと地域住民や関係者のご意見をお聞きしながら具体化に向けた作業を進めていく必要があると考えています。

ランドデザインの具体化は長い道のりとなりますが摂津市民を思う気持ちはすべての職員から感じており、たとえランドデザインを具体化する方向が多岐にわたろうとも、庁内が一丸となって努力を惜しまず、素晴らしい摂津市になるための取組を進めていくものと考えております。

今回のランドデザインは、鳥飼地域がより魅力ある地域とするべく、はじめよそ者の視点から近隣地域と差別化できる地域資源の掘り起こしをしていましたが、最後は関係した職員全員が、自らいまここにある磨けば光るかもしれない地域資源を見つけ出し、それを体系的にまとめていただきました。

外から来た副市長としては、鳥飼担当職員や関係課の職員が自ら魅力ある地域を作っていこうとする気概を十分尊重し、地域住民等としっかり向き合い、地域資源を地域住民とともに磨きあげていくやり方を助言し、すべての職員の鳥飼を大阪一の魅力ある地域にしていく努力を、全力でサポートしてまいります。【福渡副市長】

### 【9回目】

有り難う御座います。

是非、夢の実現に向け、また、魅力ある鳥飼まちづくりの具現化に、鋭意取り組んで頂けますよう、お願い致します。

以上で質問を終わります。